

人間社会学部 スポーツ科学科 専門教育分野 TLO : Target and Learning Outcomes

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ナンバ	ナンバ	科目種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ディプロマポリシー									
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6				
									身体・心・栄養・技術・戦術に関する幅広い教養を身に付けている。	スポーツおよび健康を自然現象の原理原則を生活に活用する立場から科学的に理解している。	スポーツ・体育・健康に関するデータを収集、分析して、スポーツ行動や健康行動を科学的に理解し、問題解決を図ることができる。	スポーツ・体育・健康に関する知識やスキルを専門的かつ合理的に活用し、社会貢献するための必要なコミュニケーション能力や行動力を身に付けている。	高度なスポーツ技能や多様なレベルに対応できる指導方法を身に付け、様々な専門家と協働してアスリートの支援ができる。	スポーツのパフォーマンスの向上を目指しながら、アスリートやスポーツ運動のエキスパートとして求められる高い倫理観や創造的態度・論理的思考力を有し、グローバルな視点から活躍できる。				
教育	教育原理	T-EDU108	T	100	講義	4	「教育とは何か」に視点を置きながら、教育の理念、思想、歴史等について基礎的な知識を網羅的に学修する。	1. 教育の理念や目的を理解している。2. 教育の歴史や思想を理解している。3. 学校教育や社会教育等に関する基本的事項を理解できる。	教育の理念、教育の目的、教育の思想、教育の歴史、学校制度、生涯学習									
	教育相談	T-EDU109	T	100	講義	2	教育相談を心理臨床学の視点からとらえ、基本的な理論及びその実践を学修するために、多くの事例を取り上げる学修する。	実践的かつ理論的な対応法は、基礎的・体系的な知識を欠くことが出来ない。心理臨床学に裏打ちされた教育相談の基本を体系的に修得できる。	教育相談、こころの構造、いじめ、アセスメント、カウンセリング、こころの病理、発達失調、登校拒否							◎		
	社会福祉概論	M-SWS101	M	100	講義	4	子どもや高齢者、障害のある人などすべての人たちの尊厳が守られ、安心して生活できる地域や社会の創造に向けて社会福祉の果たす機能や役割など、基本的な知識を学修する。	社会福祉の概念や定義を理解する。その上で、社会福祉の様々な分野や関連する施策、制度、サービスについて理解を深めることができる。	社会福祉の概念、歴史の展開、権利擁護、社会福祉の理論、社会政策の基本的な視点、福祉サービスの供給と利用の過程	○	○			◎				
福祉	子ども家庭福祉	M-SWS222	M	200	講義	4	子どもや家庭を取りまく地域や社会の現状を理解し、子どもが健やかに育ち、その尊厳と権利が守られる社会の実現に向けた子ども家庭福祉の全体を学修する。	子どもや家庭を取り巻く社会環境や、現代社会の子ども・子育て・子育てへの影響を理解できる。その上で、子ども・家庭への支援や施策、法制度などについて理解できる。	子どもの権利、子どもと家庭・地域、子ども・子育て支援の諸施策、児童虐待防止、社会的保護、制度・サービス	◎	○							
	医療社会論	M-SOC311	M	300	講義	4	医療の社会的役割や影響力、またその受容について、さまざまな角度からクリティカルに考えていく。	医療社会論において論じられている具体的事例について考えるための方法とスキルを身に付ける。	医療社会論、健康と病の経験、病人役割、感染症と社会的排除、優生思想、専門家支配	◎	○							
	教育心理学	T-EDU110	T	100	講義	4	教育場面に関する心理学として4つの柱（発達、学習、測定・評価、人格・臨床）を中心に学ぶ。教職必修科目。	子どもや保護者の心理、学習や記憶のしくみを理解し、どのように教育評価を行ったか、生徒に接するべきかについて理解を深めることができる。	生涯発達、学習・記憶、教育評価、知能指数、発達障害、カウンセリングマインド	○	◎							
心理	発達心理学	T-PSY101	T	100	講義	4	乳幼児期から老年期のこころと身体との発達、各時期で遭遇する問題とそれらへの対処法を学ぶ。	人間発達の特殊性と、乳幼児期から老年期の各段階ごとの発達課題と生じやすい問題、病理的特徴を理解できる。	生涯発達、家族関係、アタッチメント、認知発達、発達障害、介護、虐待	◎	○							
	対人関係論	M-PSY207	M	200	講義	4	対人場面における人間の心理行動を社会心理学の諸理論から学修する。	対人場面における人間の心理行動を社会心理学的見地から理解するとともに、社会心理学の諸理論に対する理解を深めることができる。	思考力、知識の理解、専門知識、基礎的学修、当該領域への関心、批判的思考力、自律性	◎								
	社会心理学	M-PSY202	M	200	講義	4	多様な社会場面における人間の心理行動を社会心理学の諸理論から学修する。	多様な社会場面における人間の心理行動を社会心理学的見地から理解するとともに、社会心理学の諸理論に対する理解を深めることができる。	思考力、知識の理解、専門知識、基礎的学修、当該領域への関心、批判的思考力、自律性	◎								
	スポーツの歴史と文化	M-SOC209	M	200	講義	4	スポーツを一つの文化として捉え、それが近現代社会のなかでどのような歴史を経て人びとに受け入れられてきたかを理解し、そこから自分の言葉で今後のスポーツのあり方を考えていくことができるようになる。	近現代社会において、スポーツがいつ頃からいかに受容されたのか、その過程でどのような軋轢や抵抗、また進歩や発展が示されたのか、従来からある価値意識とどのように融合してスポーツが展開してきたのかを理解し、それを踏まえて、将来のスポーツのあり方を自分で考えられるようになる。	スポーツ、遊び、祝祭、歴史、日本近代史、日本現代史、社会史、近代化、社会変動、社会構造、文化、規範、価値意識			○		◎				
スポーツ	スポーツ心理学Ⅰ	M-HES112	M	100	講義	2	学校教育における体育・運動、競技スポーツやレクリエーションとしてのスポーツ、健康・医療領域での運動やスポーツ、および日常生活での運動行動などについて心理学的観点から学修する。	スポーツの心理面への影響、運動学習のメカニズム、運動による健康の増進、競技者の心理などの理解を通して、心理学的観点からスポーツをより深く理解できるようにする。	運動と知覚、運動の学習と指導、スポーツと動機づけ、スポーツの社会心理、運動行動の変容、競技心理、メンタルトレーニング、スポーツ臨床			◎						
	スポーツ心理学Ⅱ	M-HES240	M	200	講義	2	スポーツと発達、スポーツと「やる気」、運動行動の促進、スポーツ選手のバーンアウト、スポーツ傷害における心理サポート、運動部活動における不適応等、身体運動やスポーツと心理の関連について幅広く取り上げて学修する。	スポーツの心理学的な理解を通じて、スポーツの実践者として、あるいは指導者として、より効果的にスポーツ活動を展開したり、支援することができると期待できる。	運動学習、スポーツと発達のモチベーション、運動による健康の増進、心理サポート			○		◎		○		
	スポーツ・アドミニストレーション入門	M-HES227	M	200	講義	2	国際スポーツ・アドミニストレーションの育成に向けて、スポーツ・アドミニストレーションの視点から基礎的な知識について学修する。	スポーツ外傷とスポーツ障害の予防法、指導者育成、イベントの企画運営能力など、「スポーツ・アドミニストレーション」に関する基本的な知識について理解できる。	スポーツ・アドミニストレーション、国際スポーツイベント、スポーツ医科学、指導者について理解できる。			○			◎	○		
	スポーツ・アドミニストレーション	M-HES347	M	300	講義	2	「スポーツ・アドミニストレーション入門」、「English comprehension II」および「Communication Basic II」で得た知識を基に、「仮想イベント」を実施することで、将来スポーツ・アドミニストレーターとなるべく学修する。	スポーツイベントを実施するための基礎的知識・能力として、①スポーツイベントの理解、②イベントのニーズに即したイベントの企画と準備を身に付け、さらにそれを実施した後に、適切に評価し改善することが出来るよう能力を身に付ける。	スポーツ・アドミニストレーション、スポーツイベント、大学スポーツ振興の推進事業、LNI VAS			○		◎		○		
	スポーツ産業論	M-HES346	M	300	講義	2	スポーツ産業は用品、施設、スポーツクラブ、プロスポーツ、メディアなど多岐にわたる。スポーツ用品産業（事業戦略、マーケティング、生産、販売促進、営業（販売）活動）における基本的な流れを学ぶ。さらに、スポーツクラブ経営、スポーツマネジメント、スポーツメディア、アスリートのセカンドキャリア等についても学ぶ。なお、本授業はミス/株式会社各部門の担当者としてスポーツビジネスに携わる関係者の事例を踏まえた講義を行う。	スポーツ産業における基本的な流れを学ぶこととスポーツの職業領域を理解することができる。	CSR、開発、スポーツ施設、経営、SDGs、アパレル、広報、プロモーション			○		◎		○		
	ウェルネス&スポーツ	M-HES247	M	200	講義	2	ウェルネスプログラムにより自己の健康の方法を学修し、生活の質（QOL）の向上を追求する。	1. ウェルネスの理論に基づき、科学的な情報を適切に咀嚼し、望ましい生き方、生活習慣に修正していく積極的な姿勢を持つことができる。2. 身体に高い関心を持ち、より客観的に自分の日常生活を評価し、現在の自分の状態に気づき、見直しができる。3. 生涯スポーツとヘルスプロモーションについて学び、地域社会に貢献できる能力を身に付ける。	ウェルネス、健康、よりよく生きる、ウエイコンテントロール、身体活動、休養、ライフプランニング	◎		○						
	コミュニティスポーツ論	M-SOC320	M	300	講義	2	スポーツと地域の関係性を、振興と地域づくりの観点から理解し、スポーツによる地域づくりの種類と方法、現状と課題を学ぶ。	地域とスポーツの関係が深まってきた背景、その地域づくりの方法、効果、課題を理解し、地域づくりについて意見をもち実践的な企画をたてられる。	スポーツと地域の結びつき、スポーツイベント、スポーツとまちづくり、地域のクラブとまちづくり			○						
	パラスポーツ論	M-HES358	M	300	講義	2	本講義では、多様な障がいを持つ人々によって行われているパラスポーツの実態について学ぶ。また、障がいのスポーツ活動に伴う様々な問題をスポーツの特性と社会的な視点を絡めて考察する。さらに複数のパラスポーツを実際に体験することを通じて理解を深め、障がいを持つ人々のスポーツ活動を指導、支援する責任を習得することを目的とする。※担当教員は身体障害者のリハビリテーションセンターと精神科病院の双方で、運動療法やレクリエーション指導の経験を持つ。その実務経験で得た知見をもとに障がいを持つ人の多様性や実態を紹介することで学生諸君の理解を深めたい。	様々な障がいの種類と、スポーツ活動実践に伴う課題を理解する。パラスポーツに関わる問題を社会的な視点から説明できる。障がいの特性に応じて考案されたスポーツのルールと、その基本的な考え方を説明できる。パラスポーツの実践を通じ、障がいを持つ人と共にスポーツを行なえる責任を養う。	障がい者スポーツノーマライゼーション、多様なパラスポーツ実習					○		○		
	キャリア	人間社会学部特殊講義 A	M-OAR314	M	300	講義	2	学部の判断で様々な内容に関する講義主題を選び、多様で幅広い観点から学ぶ（15回相当の授業）。	講義主題について学んだことを理解し、要点をまとめ、発信できる。	主題別					◎		○	○
		人間社会学部特殊講義 B	M-OAR315	M	300	講義	4	学部の判断で様々な内容に関する講義主題を選び、多様で幅広い観点から学ぶ（30回相当の授業）。	講義主題について学んだことを理解し、要点をまとめ、発信できる。	主題別					◎		○	○
教職系	身体づくり運動（保体教職）	M-EDU206	M	200	講義	2	教員免許状（保健体育科）取得を目指す学生を対象とし、授業者および学修者の両視点から実技授業を作って、教えて、学ぶ。	次ができるようになる。指導イメージを身に付ける。自己の指導上の課題を発見する。自己の役割や責任を果たし、グループで合意形成を図りながら協力して進める。	保健体育教師、資質能力、よい指導、グループワーク、アクティブラーニング			○		◎				
	スポーツ哲学	M-HES219	M	200	講義	2	「体育とは何か」という根本問題を、哲学的立場から明らかにするための学修を行う。	前半は体育の人間存在としての本質的役割を、後半はスポーツの「文化性」を理解し、多様な文化的・社会的可能性、現代的問題点を把握できる。	体育概念、関係性、歴索性、超越性、文化論、スポーツ構造論	◎		○				○		
	体育史	M-HES220	M	200	講義	2	近代を中心に体育・スポーツ史上の主要な出来事や人物を取り上げ時代的、地域的な特徴を学修する。	歴史上の主要な出来事や人物について理解できる。それらを踏まえ、現代の体育・スポーツの諸問題について考察できる。	国民国家、近代体育、学校体育、近代スポーツ、戦時体制下の体育・スポーツ	◎		○				○		

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	講義 演習 実習 PEL など	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ディプロマポリシー					
										DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
										身体・心理・栄養・技術・戦術に関する幅広い教養を身に付けている。	スポーツおよび健康を自然現象の原理原則を生活に応用する立場から科学的に理解している。	スポーツ・体育・健康に関するデータを収集・分析して、スポーツ行動や健康行動を科学的に理解し、問題解決を図ることができる。	スポーツ・体育・健康に関する知識やスキルを専門的かつ合理的に活用し、社会貢献するために必要なコミュニケーション能力や行動力を身に付けている。	高度なスポーツ技能や多様なレベルに対応できる指導方法を身に付け、様々な専門家と協働してアスリートの支援ができる。	スポーツのパフォーマンスの向上を目指しながら、アスリートやスポーツ・運動のエキスパートとして求められる高い倫理観や創造的思考力を有し、グローバルな視点から活躍できる。
スポーツ技術・戦術論	M-HES213	M	200	講義	2	試合やトレーニングで活躍するために、専門家のオムニバスの講義から技術や戦術・戦略を学ぶ。	様々な競技種目の①構造や現状の理解②多角的な視点からの考察③活躍するための知識や技術の習得できる。	競技種目・オムニバス講義・技術・戦術・戦略・構造・現状							
応用スポーツ医学ⅠA	M-HES245	M	200	講義	2	現在の運動医学及び国の健康づくり施策、運動基準や運動指針について学んだ後運動による生理学的変化と運動実施がもたらす身体組成や生化学検査に及ぼす効果について学ぶ。	現在の運動医学及び国の健康づくり施策、運動基準や運動指針について学んだ後運動による生理学的変化と運動実施がもたらす身体組成や生化学検査に及ぼす効果について習得する。	生活習慣病、介護予防、健康づくり、メタボリックシンドローム、肥満症、高血圧、脂質異常症							
応用スポーツ医学ⅠB	M-HES246	M	200	講義	2	生活習慣病予防と運動による生理学的変化と運動実施がもたらす身体組成や生化学検査に及ぼす効果について解説する。また、運動実施による内臓的障害や外科的障害の内容とその対処法について解説する。	幅広い年代の健康づくりのための運動の実践・ハイリスク者を対象とする安全な運動指導に関する幅広い知識の理解。また、生化学検査結果の見方理解できる。	糖尿病、ロコモティブシンドローム、健康診断結果の見方、内臓的障害、外科的障害、虚血性心疾患、運動器退行性疾患							
健康運動実習Ⅰ	M-SPE309	M	300	実習	1	健康づくりのための運動に用いられる種目の理論に基づいたプログラムの作成、指導技術を学ぶ。	幅広い年代の健康づくりに関する国の政策や理論だけでなく、高齢者やハイリスクアプローチを対象とする安全な運動指導のためには、生活習慣病の幅広い知識が必要不可欠である。本実習では、これらの基礎知識を習得するとともに、運動指導の効果についても学習する。これらの理論的背景に基づき、健康運動指導士として指導技術を実践できる能力を養成する。	ウォーミングアップ、クーリングダウン、ストレッチング、ウォーキング、ジョギング、理論に基づいた運動プログラムの作成							
エアロビクスⅠ	M-SPE218	M	200	実技	2	エアロビクスのクラスで行う基本的な指導技術を学び、指導できるようにする。	健康体力づくり及びスポーツ能力向上を、エアロビクス運動の理論を実践的に理解する。エアロビクスのコアコンディショニングとして用いられているレジスタンストレーニング（自重負荷）とストレッチングの名称と動き方を理解し、正確に実践できるように運動技能を養成する。また、実技指導の技術について学び、指導力を身に付ける。	レジスタンストレーニング、ストレッチング、自ら手をみせる、キューイング、指導技術							
エアロビクスⅡ	M-SPE308	M	300	実技	2	エアロビクスのクラスで行う基本的な指導技術を学び、指導できるようにする。	健康体力づくり及びスポーツ能力向上を、エアロビクス運動の理論を実践的に理解する。エアロビクスの基本的なステップ名称と動き方を理解し、正確に実践できるように運動技能を養成する。	エアロビクス、自ら手をみせる、キューイング、指導技術							
運動トレーニング基礎理論Ⅰ	M-HES109	M	100	講義	2	健康の保持・増進、リハビリテーションおよび競技スポーツのためのトレーニングについて、その目的、方法および効果を、運動トレーニングの科学的基礎にもとづいて学ぶ。	健康の保持・増進、リハビリテーションおよび競技スポーツのためのトレーニングについて、その目的、方法および効果を、運動トレーニングの科学的基礎にもとづいて説明できる。	運動、スポーツ、トレーニング、健康、運動プログラム							
運動トレーニング基礎理論Ⅱ	M-HES236	M	200	講義	2	健康の保持・増進、リハビリテーションおよび競技スポーツのためのトレーニングについて、トレーニング効果を高めるためのコンディショニングおよびトレーニングに関する最近のトピックを理解する。また、安全性と効率性をもった適正なトレーニングの選択や運動プログラムについて学ぶ。	健康の保持・増進、リハビリテーションおよび競技スポーツのためのトレーニングについて、トレーニング効果を高めるためのコンディショニングおよびトレーニングに関する最近のトピックを説明できる。また、安全性と効率性をもった適正なトレーニングの選択や運動プログラムについても説明できる。	運動、スポーツ、トレーニング、健康、運動プログラム							
解剖学	M-HES110	M	100	講義	2	ヒトの筋骨格系、脳神経系、呼吸循環系の形態や構造を学び、正常な人体の構造について学ぶ。	筋骨格系、脳神経系、呼吸循環系に関する人体の基本的な構造について説明できる。	人体の構造・形態、筋肉、骨、脳と神経、肺、心臓と血管系							
生理学	M-HES111	M	100	講義	2	ヒトの細胞や組織、筋や脳神経等の各器官の役割や機能を学び、健康な人体の生理機能について学ぶ。	細胞や組織、筋や脳神経等の各器官に関する人体の基本的な生理機能について説明できる。	人体の機能・役割、細胞、ホメオスタシス、代謝、神経、筋、感覚、呼吸循環、消化吸収							
メンタルトレーニング論	M-HES223	M	200	講義	2	心理スキルトレーニングの方法について、学術的背景や基礎的用法の知識や理解を深めるための学修をする。	メンタルトレーニングの必要性や実際のメンタルトレーニングの展開、心理的スキルトレーニングの技法について理解できる。	競技力の向上、メンタルトレーニングの技法の基礎、メンタルトレーニングの展開							
スポーツトレーニング論Ⅰ	M-HES243	M	200	講義	2	スポーツ選手のトレーニング指導に必要な理論や実践的な方法についての基本的事項を理解することを目的とする。	履修者はスポーツパフォーマンスを向上させるための基本的な運動プログラムについて理解し、その作成ができるようになる。	ウェイトトレーニング、筋力、スピード、パワー、可動域、持久力							
スポーツトレーニング論Ⅱ	M-HES244	M	200	講義	2	スポーツトレーニング論Ⅰで学んだ基礎を発展させ、各種競技スポーツにおける特性を考慮して、競技スポーツパフォーマンスを向上させるために必要な専門的なトレーニング方法の理論と実践的な進め方を学びます。	履修者は各種競技スポーツ種目における体力の特性や年齢特性について理解し、その競技や年齢に応じたトレーニングプログラムを作成できるようにする。	競技特性、ピーキング、ジュニア、アスレティックトレーニング							
メンタルトレーニング演習	M-HES334	M	300	演習	2	心理スキルのエクササイズやグループワークの実践を通じて、体験的にメンタルトレーニングへの理解を深め、実践力を付けるための学修を行う。	競技者としてメンタルトレーニングを実践できるようにする。また、指導者として選手の心理的な課題に応じたメンタルトレーニングを指導できる。	心理スキルトレーニング、メンタルトレーニングプログラムの立案と実施、実践報告							
コンディショニング演習	M-HES354	M	300	講義	2	目的に応じたコンディショニングプログラムを作成・実施することを通じて、指導に必要な実践能力を養成するための学修をする。	基本的なエクササイズの指導ができる。各目的に対応したプログラムを作成できる。	プログラムデザイン、エクササイズの実践、エクササイズの指導、競技特性、測定評価							
衛生・公衆衛生学	M-HES304	M	300	講義	4	社会や環境とヒトの健康の保持増進との関わりについて学ぶ。	身近な環境問題と健康、生活習慣病や高齢者問題、人口問題と医療費、学校や地域、職域における健康づくりの現状について理解できる。	健康、環境、社会、人口、医療、保健							
健康管理論	M-HES357	M	300	講義	2	健康管理に関する基礎的・基礎的な理論・方法を修得し、実践の活用に関する能力を培う。	・健康概念、ヘルスプロモーション、健康づくり施策等、健康管理の基礎的理論・枠組みについて学ぶ。 ・栄養、運動、生活習慣病等、健康管理に必要な基礎的・基礎的な内容を学ぶ。 ・健康管理の基礎的・基礎的な学修を踏まえ、地域・学域・職域での健康管理の実践的活用に関する能力を培う。	健康概念、ヘルスプロモーション、健康づくり、健康成立要件、危険因子							
スポーツ政策	M-HES326	M	300	講義	2	スポーツを通じた国際競技力の向上、健康増進や国際交流の拡充、地域・経済の活性化等について学ぶ。	スポーツ政策の科学的根拠及び提言等について、重要な論点を考察し、各自の意見を述べる事ができる。	スポーツ振興政策、競技スポーツと国際競技力向上、海外のスポーツ政策、事故とリスクマネジメント							
健康運動実習Ⅱ	M-SPE302	M	300	実習	1	高齢者の体力測定と評価、介護予防・運動や生活習慣病の適切な運動療法を学ぶ。	高齢者やハイリスク者を対象とした安全で効果的な運動指導の補助ができる。	高齢者、ハイリスク者、介護予防、生活習慣病、運動療法、高齢者の体力測定と評価、介護予防に関する体力測定と評価							
応用スポーツ医学Ⅱ（含実習）	M-HES353	M	300	実習	2	運動を安全かつ効果的に行うために、運動実施による生理学的変化と運動実施による身体組成や生化学検査への影響を学習する。	実習を通して運動による生理学的変化について理解し、実践に活用できる。	スポーツ、医学、運動負荷試験、救急蘇生、外科的処置							
エアロビクスⅢ	M-SPE402	M	400	実技	2	エアロビクスのクラスで行う基本的な指導技術を学習し、指導できるようにする。	エアロビクスやコンディショニングトレーニングの動きを洗練し、かつわかりやすく指導できる。	エアロビクス、レジスタンストレーニング、ストレッチング、自ら手をみせる、キューイング、指導技術の向上							
健康心理学	M-HES238	M	200	講義	2	健康行動、心身相関現象、ストレスマネジメント、ライフスタイルおよびパーソナリティ特性と健康との関連を学ぶ。	自らの健康を向上させることができるようになり、さらに家庭、地域、学校、職場の健康増進に貢献できる能力や態度を養うことができる。	健康行動、心身相関現象、ストレスマネジメント、ライフスタイル、パーソナリティ特性							
健康栄養学Ⅰ	M-HES237	M	200	講義	2	日本人の健康と栄養状態の歴史を振り返りながら、栄養や食生活と健康の関わりについて学ぶ。加えて正しく栄養情報を伝える能力「健康栄養リテラシー」について学ぶ。さらに、栄養素、食品、料理などの基本的な知識、健康的な食生活を行うための具体的な食療法、サプリメントの扱い方などを学んだうえで、自分自身の食生活を振り返る。	1) ヒトの健康と食生活が深く関わっていることを理解し、食に関する適切な情報を正しく選択・利用できる。 2) 栄養素、食品、料理などの基礎的な知識を修得し、健康を考えた適切な食生活、栄養バランス、食べ方を理解し、実践できる。 3) 自分自身の食生活を評価できる。	食生活と健康、健康栄養リテラシー、保健機能食、サプリメント、栄養アセスメント							
健康栄養学Ⅱ	M-HES349	M	300	講義	2	幅広い側面から「食」を捉え、健康との関係を探り、学びを深める。食文化やおいしさ、環境と食生活、生産・流通・消費、食の安全・安心、若年から高齢者までのライフステージごとの食事・栄養の問題、そして、未来の食など、食をとりまく様々な事柄について広く学び、健康に生きることの大切さを理解する。	1) 私たちの食生活や健康は、文化、社会、環境との関わりが深く、多くの人々や法律、規則、システムの上で成り立っていることを理解し、日々の食事を大切に考え、実践できる。 2) ライフステージに応じた栄養上の問題を理解し、健康維持のための適切な食生活を実践できる。	食文化、食と環境、生産・流通・加工・消費、安全・安心、ライフステージ別栄養マネジメント							

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	単 位	1. 科目の目的 授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとすか。	2. 科目の到達目標 授業での教育・学修を通して学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	3. キーワード 学修の参考となる重要なキーワードなど	4. ディプロマポリシー													
									DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6								
									身体・心理・栄養・技術・戦術に関する幅広い教養を身に付けている。	スポーツおよび健康を自然現象の原理原則を生活に応用する立場から科学的に理解している。	スポーツ・体育・健康に関するデータを収集・分析して、スポーツ行動や健康行動を科学的に理解し、問題解決を図ることができる。	スポーツ・体育・健康に関する知識やスキルを専門的かつ合理的に活用し、社会貢献するために必要なコミュニケーション能力や行動力を身に付けている。	高度なスポーツ技能や多様なシチュエーションに対応できる指導方法を身に付け、様々な専門性と協働してアスリートの支援ができる。	スポーツのパフォーマンスの向上を目指しながら、アスリートやスポーツ・運動のエキスパートとして求められる高い倫理観や創造的・論理的思考力を有し、グローバルな視点から活躍できる。								
スポーツ科学科 専門科目	実践スポーツ英語	M-ENG302	M	300	講義	4	スポーツという世界共通のエンターテインメントプログラムを教材にして親しみやすく分かり易い英語学習をする。	スポーツ関連の英文の読解、発話の練習、映像・音声等を教材にして、海外で活躍することを旨とする選手が身につけておくべき英語力を涵養できる。	スポーツ英語、英文読解、発話、内容についての議論													
	学校安全保健	M-EDU302	M	300	講義	4	教員免許状(保健体育科)取得を目指す学生の必修科目であり、学校保健活動に関する基礎的事項やマネジメントなどについて学ぶ。	内容理解、関連資料の活用、グループワークでの発言や進行、教育実習等や実際の学校現場において、理解したことを活用できるレディネスを身に付ける。	学校保健、保健体育教師、資質能力、健康教育、理論と実践			◎										
	スポーツ法学	M-HES332	M	300	講義	2	スポーツ固有法およびスポーツ国際法のスポーツ法の体系に則しながら、スポーツ法に関する各種関係を学修する。	社会制度の基礎となつているスポーツ法の基礎知識を習得、スポーツに関する諸事象、諸課題を法的側面から理解できる。	スポーツ法、法的責任、スポーツ基本法、紛争解決制度、スポーツ国際法	◎												
	スポーツジャーナリズム	M-HES325	M	300	講義	2	「スポーツとは何か」「スポーツの光と影」「スポーツの真実」を学修する。	マスコミを目指す者だけでなく、スポーツに関わる指導者、教職、商社、公務員などを志す者が、スポーツの魅力を伝えられる実践的理解を身につける。	現場で起きた具体例、指導者の暴力、パワーハラメント	◎												
	スポーツ経営学	M-HES322	M	300	講義	2	公共・民間両スポーツ施設に着目し、スポーツ施設での経営・管理の現状を把握し、効果的・効率的なスポーツ施設の経営・管理のあり方等について学修する。	スポーツ施設の基本的な構造や現状を理解し、スポーツ施設における現状や課題を様々な観点から捉え、考察できる。スポーツ施設を経営・管理できる知識や技術を得る。	スポーツ施設、みるスポーツ、するスポーツ、ささえるスポーツ、スポーツビジネスの特徴、運営				◎									
	スポーツ外傷・障害	M-HES409	M	400	講義	2	スポーツ外傷・障害の定義、分類、傷害発生メカニズムやその診断、予防の理論的背景や考え方を説明し、傷害のバリエーションと修復メカニズム等を学修する。	スポーツ外傷や運動を伴った外傷や傷害を起さず安全に行うために必要なスポーツ外傷・傷害の予防、救急処置および傷害からの回復のためのリハビリテーションに関する基礎知識を概ね説明できる。	スポーツ外傷・傷害の定義・分類、発生メカニズム、競技特性の関連								◎					
	アスレティックリハビリテーション論	M-HES302	M	300	講義	2	傷害を負った選手がスポーツ活動に復帰するために必要な取り組みであるアスレティックリハビリテーションについて学修する。	スポーツ活動中に発生する主な傷害について理解できるとともに、その傷害から復帰するために必要な治療やアスレティックリハビリテーションについて理解できる。	アスリートの歴史、機能解剖、障害の発生機序、身体各部位の特性、運動特性、段階的リハビリプログラム									◎				
	アスレティックリハビリテーション演習	M-HES301	M	300	演習	2	スポーツ選手が受傷後に行うアスレティックリハビリテーションについての知識と技能について学習するとともにその実践を行う。	安全で効率的なスポーツ復帰を支援できるように傷害の回復状態を評価するための手法を実践すること、及び回復段階に応じた適切な負荷の運動を処方できる能力を身につけることができる。	筋内の触診、骨の触診、関節可動域、整形外科的テスト、筋力、運動特性、バランス			◎										
	スポーツ生理学実習	M-HES327	M	300	実習	2	スポーツ活動に伴う呼吸器、循環器、筋、脳および神経活動等の変化を実際に測定するための学修を行う。	運動中の人体の生理学的応答を測定し、得られた結果を考察を加えてレポートできる。	呼吸、循環、筋、脳、神経、運動中の生理学的応答			◎										
	サッカーコーチング演習Ⅰ	M-HES314	M	300	演習	2	選手との関係においてリーダーシップを発揮し、良好なチームビルディングを行い、モチベーションを高め、効果的な選手育成を行うためのコーチング理論について学ぶ。	効果的なコーチングを可能にする、コミュニケーション、競技特性、パフォーマンスの構造と発達過程、トレーニング、コンディショニングなどを理解する。	サッカーコーチング、コミュニケーション、競技特性、パフォーマンス、トレーニング、コンディショニング													
	サッカーコーチング演習Ⅱ	M-HES315	M	300	演習	2	選手との関係においてリーダーシップを発揮し、効果的な選手育成を行うために、サッカーコーチングの具体的な事例とともに実践について学ぶ。	効果的なサッカーコーチングについて、具体的な事例の理解をもとに、自身のサッカーコーチングを計画し実践できる。	サッカーコーチング、コミュニケーション、競技特性、パフォーマンス、トレーニング、コンディショニング													
	ゴルフコーチング演習Ⅰ	M-HES311	M	300	演習	2	選手との関係においてリーダーシップを発揮し、モチベーションを高め、効果的な選手育成を行うためのコーチング理論について学ぶ。	効果的なコーチングを可能にする、コミュニケーション、競技特性、パフォーマンスの構造と発達過程、トレーニング、コンディショニングなどを理解する。	ゴルフコーチング、コミュニケーション、競技特性、パフォーマンス、トレーニング、コンディショニング													
	ゴルフコーチング演習Ⅱ	M-HES312	M	300	演習	2	選手との関係においてリーダーシップを発揮し、効果的な選手育成を行うためのゴルフコーチングについて具体的な事例とともに実践について学ぶ。	効果的なゴルフコーチングについて、具体的な事例の理解をもとに、自身のゴルフコーチングを計画し実践できる。	ゴルフコーチング、コミュニケーション、競技特性、パフォーマンス、トレーニング、コンディショニング													
	スポーツコーチング論	M-HES355	M	300	講義	2	スポーツコーチングとは、パフォーマンスの向上や勝利等の成果を目指している選手(生徒)およびチームを支援する指導者の活動の総称である。本講義では、スポーツの競技活動の一連のプロセスでコーチに求められる課題や知識を提示し、活動の様々な場面におけるコーチの役割と指導方法について学ぶ。受講生には、自身のスポーツ種目のパフォーマンスの構造を分析し、さらに目標設定や練習方法、練習計画策定のためのワークシートの作成を求める。	・競技特性をスポーツパフォーマンスの構造と発達過程から説明できる ・発達段階に応じたコーチングの要点を理解する ・スポーツ活動の一連の過程におけるコーチングの内容と、その対処方法を理解できる。	競技力の構造 発達段階に応じた指導 目標設定 トレーニング手段と方法 技術・戦術のコーチング 競技場でのコーチング													
	スポーツ指導論	M-HES356	M	300	講義	2	本講義ではスポーツ指導者に必要な適性と能力(思考・態度・知識・技能)を総合的に学ぶ。受講生は、自分自身のプレイヤーとしてのスポーツや競技に対する考え方やコーチとの関係性について内省し、指導者となるためにどのような知識や考え方が必要であるのかを考察する。さらには指導者として身につけるべき態度や行動、モラルについて理解を促す。	・スポーツの本質的な特性を説明できる ・ハラスメントなどの倫理的な問題と、その発生背景を説明できる ・自身のスポーツに対する欲求や価値観を説明することができる ・選手の意欲や能力に応じたリーダーシップスタイルの使い方を説明できる ・相互理解を深め、建設的関係を生み出すコミュニケーションスキルの要諦を理解する。	スポーツの本質 コーチングの哲学 リーダーシップのスタイル コミュニケーションスキル													
	健康産業施設等現場実習	M-HES408	M	400	実習	3	健康産業施設等現場実習(事前)、実習中(実施中)、実習後(事後)において必要な準備と実践を行う。現場実習を通じて、運動と健康づくりの重要性や運動に関わる指導者としての役割、授業で学んだ基礎知識が現場でどのように活かされているのかを体験する。また、運動指導者として必要な基礎力、応用力について理解する。また、本授業は健康づくりの現場等での実務経験を持つ教員がその経験を活かして、健康づくりの中で健康運動指導者に求められる実践的、具体的な役割、知識、スキルを学ぶことができる。	健康産業施設等現場実習(事前)、実習中(実施中)、実習後(事後)において必要な準備と実践を行う。現場実習を通じて、運動と健康づくりの重要性や運動に関わる指導者としての役割、授業で学んだ基礎知識が現場でどのように活かされているのかを体験する。また、運動指導者として必要な基礎力、応用力について理解する。また、本授業は健康づくりの現場等での実務経験を持つ教員がその経験を活かして、健康づくりの中で健康運動指導者に求められる実践的、具体的な役割、知識、スキルを学ぶことができる。	健康運動指導士、インターンシップ、マナー、ホスピタリティ、外部施設、体験													
スポーツ科学実習: 陸上競技	M-SPE217	M	200	実技	1	様々な陸上競技の種目を実際に行い、その特性、ルールを学習する。	陸上競技の各種目のコツをつかみ、一定の水準の記録に到達する。また、安全に競技を遂行し、サポートする能力を身につけることができる。	100m走、走高跳、ハードル、リレー														
スポーツ科学実習: サッカー初級	M-SPE206	M	200	実技	1	個人の技術練習を中心に、そこで習得した技術を試合の中で発揮できるようにする学習を行う。	個人技術を向上させるとともに、チームスポーツとしてのサッカーの技術や戦術を習得できる。	サッカー技術・戦術・戦略・チームスポーツ・試合	◎													
スポーツ科学実習: サッカー中級	M-SPE207	M	200	実技	1	個人から、グループ戦術へと発展させ、グループでの攻撃と守備を学ぶ。	攻撃で数的優位を作りゴールを奪い、守備は相手にスペースを与えずボールを奪えるようになる。	サッカー・個人技術・グループ戦術・攻撃・守備・戦略	◎													
スポーツ科学実習: ダンス	M-SPE211	M	200	実技	1	教育現場でダンスの授業を指導できるように、いろいろなジャンルに合わせたダンスの基礎、表現方法を学ぶ。	教育現場で体育の指導者として生徒の前で踊って見せられるくらいまでの基礎的技術を体得できる。	リラクゼーション、リズム練習、ステップ、身体表現、動きのバリエーション、創作ダンス														
スポーツ科学実習: 器械体操	M-SPE204	M	200	実技	1	マット、鉄棒、とび箱の各運動の基本的な技術の習得を目指し、段階的指導方法や練習方法を理解し、実践するための学習を行う。	運動構造を理解・実践し、指導できる頃に達することが必要である。同時に、授業の進め方、展開方法を習得できる。	マット運動、鉄棒、跳び箱、回転感覚、空間認知能力、逆感覚、巧緻性、身体認識力														
スポーツ科学実習: バスケットボール	M-SPE213	M	200	実技	1	バスケットボールの技術構造やルールを理解し、集団的技術や個人的技能を獲得し、基礎的なゲーム展開の方法を習得する。	技術の構造とルールの理解、集団的技術や個人的技能の獲得、ファンタメンタルの実践と理解、ボールゲーム、チームスポーツの理解ができる。	チームスポーツ、ボールゲーム、技術構造、ルール、個人戦術、集団戦術	◎													
スポーツ科学実習: バレーボール	M-SPE214	M	200	実技	1	個人の基本的な技能を身につける。ルールの理解、協調性を養い、バレーボールの特性や楽しさを体験するための学修を行う。	生涯スポーツの基礎づくり、スポーツの意義の認識、目標や課題の設定、ルールの理解およびゲーム方法の工夫、スポーツの楽しさを体得し、基本的技術の獲得できる。	バレーボールの特性、楽しさ、技能、ルール、ゲームの工夫、生涯スポーツ	◎													
スポーツ科学実習: ソフトボール	M-SPE210	M	200	実技	1	投・打・走・捕など、基本的な技術や戦術について学修する。	基本的な技術や戦術を学び、それらを習得する練習の具体的な方法を学習して実践できるようにする。	技術・精神・判断・攻撃・戦術・知識	◎													
スポーツ科学実習: ゴルフ初級	M-SPE205	M	200	実技	1	ゴルフというスポーツの技術的な側面を基本から学ぶとともに、プレーをするうえでのマナーに関して、指導する。	ショットやパッティングなど、多岐にわたるゴルフの基本を習得し、実際にゴルフコースでプレーできるまでのレベルの獲得を目指す。	エチケット、ゴルフクラブ、ショット、パッティング														
スポーツ科学実習: 柔道初級	M-SPE208	M	200	実技	1	初めて柔道を学ぶ中・高校生に対する、受け身、組み方、体さばきなどの指導法を修得するための学習をする。	初めて柔道を学ぶ中・高校生に対して、安全に効果的に指導することができるようになる。	柔道衣の着方、礼法、受け身、組み方、体さばき、投げ技														

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ ナンバ	ナンバ リング	科目 種別	講義 演習 実習 PEL など	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	4. ディプロマポリシー						
										DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	
										身体・心理・栄養・技術・戦術に関する幅広い教養を身に付けている。	スポーツおよび健康を自然現象の原理原則を実生活に応用する立場から科学的に理解している。	スポーツ・体育・健康に関する知識やスキルを専門的かつ合理的に活用し、スポーツ行動や健康行動を科学的に理解し、問題解決を図ることができる。	スポーツ・体育・健康に関する知識やスキルを専門的かつ合理的に活用し、社会貢献するために必要なコミュニケーション能力や行動力を身に付けている。	高度なスポーツ技能や多様なレベルに対応できる指導方法を身に付け、様々な専門家と協働してアスリートの支援ができる。	スポーツのパフォーマンスの向上を目指しながら、アスリートやスポーツ運動のエキスパートとして求められる高い倫理観や創造的・論理的思考力を有し、グローバルな視点から活躍できる。	
	スポーツ科学実習：水泳	M-SPE209	M	200	実技	1	練習方法及び指導法の習得、泳力の向上、指導能力の獲得。また健康・体力づくり、生涯スポーツとの関連を学ぶ。	4 泳法の推進メカニズムの理解、泳法の習得、100m個人メドレー完泳、指導法と実践的な指導能力の獲得、水の特性の理解、水中での自己保全能力、完全管理能力を養う。	4 泳法とその泳力、指導法と指導力、水の特性、水の安全、生涯スポーツ				○	◎		○
	スポーツ科学実習：野球初級	M-SPE216	M	200	実技	1	お互いが気を遣い、「楽しむスポーツ」というよりも「競技スポーツ」としての学習を行う。	ゲームに勝ったり技術が上手いということよりも、チームメイトだけではなく対戦相手への思いやりや助け合いを養う。	心・技・体、公德心		◎			○		○
	スポーツ科学実習：テニス初級	M-SPE212	M	200	実技	1	On Courtの授業ではストローク・ボレー・スマッシュ・サーブなどの基本的なショットの打ち方を学ぶ。講義では、テニス用語、スコアの教え方、シングルス・ダブルスの試合方法、テニスコートにおけるマナー、テニス観戦のマナーなどを学修する。	簡単なダブルスができる程度のテニス技術を身に付け、テニスのルール、マナー、テニス界の現状・歴史を学び、テニスを通じての外交ができ、またテニスの会話が弾む知識を得ることができる。	基本的なショットの打ち方シングルス・ダブルスの試合方法、テニスコートにおけるマナー、テニス観戦のマナー				○	◎		○
	スポーツ科学実習：ゴルフ上級	M-SPE303	M	300	実技	1	実際にゴルフコースでプレーできるレベルから、さらに発展してコースでのレベルアップを図ることを目的とする。単にプレーするのではなく、よりよいスコアを念頭に置いた指導をする。	ショットやパットの基本から、実際にコースで起こり得る状況にいかに対処するべきかを想定して練習する。	ショット、ミドルアイアン、ロングアイアン、ユーティリティ、フェアウェイウッド、ショートゲーム				○	◎		○
	スポーツ科学実習：柔道上級	M-SPE304	M	300	実技	1	柔道初級を発展させて、より効果的な技の連絡変化などを学ばせ、その指導法を身につけるための学習を行う。	柔道初級を発展させて、さらにレベルの高い技術を習得し、それが指導できるようになる。	受け身、組み方、体さばき、投げ技、固め技、押さえ技、締め技				○	◎		○
	スポーツ科学実習：野球上級	M-SPE306	M	300	実技	1	「野球初級」での学修を基礎に、お互いが気を遣い、「楽しむスポーツ」というよりも「競技スポーツ」として一段と高いレベルに達するための学修を行う。	上級者としてのレベルで、ゲームの勝敗や技術の巧拙だけでなく、チームメイトはもちろん対戦相手に対しても思いやりや助け合い心をさらに充実させる。	心・技・体、公德心		◎			○		○
	スポーツ科学実習：テニス上級	M-SPE305	M	300	実技	1	上級の授業では、ストロークやボレー等の技術に磨きを掛けるとともに、シングルスやダブルスの戦法を学ぶ。また、アイフォメーション、ドライブ・クレークシステムなどの専門用語の理解を深め、実際にコートで実習する。	生涯スポーツとして継続できる程度に技術を上げる。シングルス、ダブルスの試合方法を習得し、トーナメントを開催する。テニスを通じて自分を律することを学ぶとともに、歴史、ルール、マナー等、テニスを語ることでできる知識を身につける。	コースの打ち分け、トップスピン回転とスライス回転、スライスと同じフォームからのドロップショット、ドロップボレー、ドライブボレー、ダブルスのボレーの練習				○	◎		○